



2024～2025年度クラブ目標

創立1986年

『思いやりがある 感謝のロータリー』



2024～25年度国際ロータリーテーマ

会長 阿部 克弘
幹事 十文字 光伸

第1823回例会

令和6年9月26日(18:30～19:30)



○ソング

- 我等の生業

○ビジター

- 近藤勝人様

○スマイルBOX

- 池田浩章会員（ここ2回程欠席しましたのでスマイルします。）

- 居川孝男会員（今月18日・19日と地元那須グランディで私の所属する団体の東北大会を無事終えることが出来ました。200名超の同業者が一同に会し、銚子電鉄再生に頑張っている社長の話は良かったでした。）

- 永野文雄会員（米山功労者の表彰を受けました。ありがとうございます。ホームミーティングの発表者ご苦勞様でした。）

- 宮本多可夫会員（ホームミーティング各班の発表者の皆さん、ご苦勞様でした。）

- 山田顕一郎会員（先週の金曜日の朝出勤する直前に、テレビの電波を通してですが大谷選手の50-50にリアルタイムで体感することができました。とてもラッキーでした。）

- 鈴木孝幸会員（職業奉仕とは言え、長らく欠席が続き、申し訳ありません。阿部会長にお詫びの意味でスマイルさせていただきます。）

- 金田昇会員（誕生日のお祝いありがとうございます。休みが続きました。）

▶第1823回例会出席状況

(R6年9月23日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	71名
Ⓒ Ⓐの出席者数	25名
Ⓔ Ⓐのメイクアップ者数	0名
Ⓔ Ⓑの出席者数	15名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓔ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓔ)	67
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	59.7%

【今週の仮メイクアップ会員】

- 9月3日 HM 4班

佐藤幸彦、諸橋和典、居川孝男、運天直人、
須藤正樹、中嶋一貴、緑川直人、吉成真五郎

- 9月4日 HM 8班

藤田龍文、吉田充、上杉謙太郎、齋藤孝弘
鈴木浩一郎、西山よしえ、矢田部錦四郎、金田昇

- 9月9日 HM 6班

成井正之、山縣榮寿、石川格子、白岩修一、
関谷亮一、中目公英、鈴木満、金田昇

- 9月17日 HM 7班

鳴島三夫、渡辺道直、遠藤敦、長克則、
永山龍太郎、村上堅二、渡部則也

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

阿部克弘会長



皆さんこんばんは。

本日も出席をいただきまして有難うございます。

本日はホームミーティングの発表がありますので楽しみにしております。

どうか担当の方は宜しくお願いしたいなと思います。先週は欠席をしてしまいました。申し訳ございません。藤田会長エレクトには大変お世話になりまして有難うございます。

さて9月21日土曜日から9月30日月曜日まで、秋の交通安全週間になっています。そして交通安全運動が各地で行われておりますが、私も以前に白河地区交通安全協会大沼分会の委員として活動をしておりました。期間になると近くの横断歩道で旗振りをしておりました。その時に朝の7時～7時30分位ですが、その間に会員の石部さんが通ったりもして朝の挨拶を交わした記憶があります。特に横断歩道は大変で人が立っていて一時停止をしないと、警察の方に違反切符を切られてしまいますので気を付けていただければと思います。また期間に関わらず交通安全には皆さん気を付けていただきたいと思います。

それから皆さんには馴染みがないと思いますが、私は9月20日金曜日から本日9月26日まで動物愛護週間という事で活動しております。まあ動物愛護週間ですから犬バカの阿部克弘には切っても切れない運動になっています。

福島県の動物愛護ボランティア会の総会が9月7日に郡山で開催されました。その時に私も行ってまいりましたが、福島県の農業総合センターで福島県の動物ボランティアの活動報告が共催で行われました。以前に福島県獣医師会の会長だった浦山さんとお会いして、白河でも動物愛護週間のイベントをやりますという事を聞きました。県南支部の支部長さんはアルゴス動物病院の官野先生で、何故か白信のイベントホールで落語会をするというので私も行ってまいりました。何で動物愛護と落語がコラボするのかなと思いましたが、官野先生は高校の時に落研だったようです。うちの女房の先祖のお墓がある山の寺の海野さんの檀家ですが、そこで以前に白い犬という落語を官野先生がやりました。結構上手かったなと記憶しています。機会があればここでご披露いただければなと思っています。

そんな事で今回白河西ロータリークラブでも盲導犬の応援プロジェクトを開催しますが、関係者の都合で白紙になり延期の状態なので、何とか早く三者の福島県と盲導犬協会と西クラブが合致できるように進んでいただけたら嬉しいです。私も期待していますので社会奉仕委員長におかれてはいろいろ大変だと思いますが宜しくお願いしたいと思います。

今日はこれくらいで会長の時間は終わります。本日もどうぞ宜しくお願い致します。有難うございました。

■表彰式

○米山功労者の表彰授与式

米山功労者第6回マルチプル

白河西ロータリークラブ

永野文雄殿

米山奨学事業へのご寄付に対し心から感謝の意を表します。

2024年9月20日

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

理事長 若林紀男

○米山功労者第5回マルチプル

白河西ロータリークラブ

金田昇殿

以下同文です。

○米山功労者第2回マルチプル

白河西ロータリークラブ

吉田充殿

以下同文です。



■幹事報告

十文字光伸幹事



○須賀川ぼたんRC会長 水上哲夫：須賀川ぼたんRC創立30周年記念式典の不開催について

○米山記念奨学会 森：特別寄付金明細書をファイル共有サービスに配置いたしました。

- 2023-24年度ガバナー右近八郎、地区幹事坪井大雄：2023-24年度地区資金決算報告書（案）・監査報告書の送付について
- 米山記念奨学会理事長 若林紀男、事務局長 峯純子：感謝状（礼状）及び法人申告用領収証送付の件
- 国際RC：公共イメージニュース ロータリーの公共イメージ向上に力を注ぐ
- ガバナー 早川敬介：クラブ行動計画推進リーダー説明会資料の追加とアンケート結果について
- 東白川RC会長 金澤拓哉：2024-25年度年次計画書・報告書の送付について

■各委員会報告

金田昇ガバナーノミニ



皆さん、こんばんは。地区からということではないんですけれども、ちょっとしばらく2週間ほど例会を休ませていただきました。今日来たら、米山のマルチプルということでバッチ

をいただきましてありがとうございます。こういう事が地区だけではなく、ロータリー全体の活動に貢献していけたらいいなというふうに思っています。それで、今日はちょっとお願いがあります。11月3日、地区大会が「ユラックス熱海」で開催されることになっています。幹事のほうからご案内行ったところですね、今のところまだ10名ちょっとくらいしか参加の申し込みがないということであります。全員登録しておりますし、来年度、再来年度、自クラブ、白河西ロータリークラブが主管して開催することとなりますし、来年はキャンペーンを張ってやらなくちゃならないということで、各クラブに行って、分区とかに行って地区大会参加お願いしますとお願いする立場なんですけれども、そのお願いする立場のクラブとして10名20名ということでちょっと寂しいなというふうに思っています。地区大会のユラックス熱海から行きますと、午前中の本会議ですね、大会。セレモニーだけでも十分ですので、是非皆さんで参加できるようにお願いしたいというふうに思います。幹事のほうからもう一度案内文が流れると思いますので、特に入会年度の浅い方、まだ地区大会に行った事のない方いらっしゃると思いますので、是非参加していただいて、今度自分たちのクラブで主管する時の参考にさせていただければと思います。是非、大勢の方で行って盛り上げていただければというふうに思いますので、地区役員としてのお願いであります。

ます。よろしくお願いいたします。

○シスター委員会

村上堅二委員長



皆さん、こんばんは。シスター委員会の村上でございます。本日メールをお送りしました案件ですけれども、緊急だったんですけれども、10月1日夜のほうを5時半から米沢中央さんとの交流会がありますので、是非参加のほうをよろしくお願いいたします。只今19名参加になってますので、向こうが18名参加です。出来ればあと5～6人欲しいなということなので、是非参加のほうよろしくお願いいたします。それから続きまして、10月6日に、米沢さんのほうで芋煮会にご招待を受けました。今回女子会が中心ということだったんですけれどもですね、参加できる方は是非私のほうに申し込んでいただければ、申し込みの用紙取りますので、その辺よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム ホームミーティング報告会

○第4班

諸橋和典会員



皆さん、こんばんは。佐藤幸彦班長のもと、居川孝男さん、運天直人さん、須藤正樹さん、中嶋一貴さん、緑川直人さん、吉成真五郎さん、8名全員参加という素晴らしいスケジュールのもと開催しました。9月3日、日本料理「楓」で開催しました。その中で話し合った件なんですけれども「例会の参加率を上げるにはどうすればよいか」ということですが、出席者の出たメリットを与えるために例会ごとに抽選会を行って、一人の方にプレゼントを渡すというのが面白いんじゃないかとかいうこと。それから、例会欠席者に対しては週報などのプリントなど会長や幹事、出席委員会などが本人の所に伺って直接渡す。それで出席を促すということ。例会に出てこない人に対しては、メールとかではなくて直接電話をして直接話をして例会に出てもらえるようにお願いすること。それと、100パーセント例会を企画してはどうかということです。以前、やったことがあるんですけども、全員参加という例会を企画してはどうかということです。ただ、これは非常に難しいところもありますので、例えば各委員会ごと、この委員会はこの週は必ず100パーセント出席する、そういった例会を企画してはどうかということです。それと、例会時間

を変更してみてもどうかということですね、昼夜や
 てるクラブというのも非常に珍しいんですけども、例
 えば昼の例会を12時から1時までにしてやってみる。
 午後1時に仕事がある方っていうのも結構多いとい
 うことなので、その時間に終われるような例会とい
 うのも考えてみるかどうかということです。あと、途
 中入退室をもうちょっと緩やかにして、途中から出
 席したり途中で退場したりということも非常に緩
 やかにしてはどうかということですね。あと、その
 中で出た中で例会出席も非常に大切なことですが、
 退会者を出さないということも大事なので、例会
 出席を出来るだけ強要することによって、そん
 なに出れないんだったらちょっとクラブに入
 ってもどうかとか、そういった考えをなくして
 もどうかということですね。あと、メーキャップ
 やオンライン参加というのをうまく使って例会
 出席を高めてみるかどうかということです。続
 きまして、ホームミーティングについて。ホーム
 ミーティングは非常に楽しいということですね。
 出席率もとても良くてそれこそ例会には出れ
 ないけどホームミーティングは欠かしたことが
 ないというメンバーが沢山いらっしゃいました。
 回数については年に3回くらいやってもいいん
 じゃないかということです。あと、会員数が非
 常に増えているので、今1班が10名弱にな
 っているんで、班数を増やして1班の人数を
 少なくしてもうちょっと8人とか10人近くな
 ると会話が非常に難しくなるとということで、
 6〜7人くらいだったら一つの会話でまとま
 っていくんじゃないかなということです。あと、
 日程調整もそうなんですけども、10人近い
 と日程調整が非常に大変だなということこの
 ようです。あと、ホームミーティング本来で
 あれば家族に対してロータリー活動や、その
 他のメンバー、そういったものを家族に紹
 介したり、ロータリー活動を理解してもら
 うということの役割もあるので、家や職場
 などでホームミーティングを開催できる人
 を募集して、その方に班長やってもらって
 班構成を考えてくのもいいんじゃないかな
 というようなこともありました。あと、ホーム
 ミーティングに関わる経費なんですけども、
 班長に負担をかけないように完全割り勘
 性がいいんじゃないかということです。た
 だし、豪華にやりたい班長さんがいら
 っしゃればその限りではないということ
 なので、是非経済的に余裕がある方は
 豪華なホームミーティングも開催して
 いただければと思います。ということで、
 佐藤幸彦班長の所は非常に豪華なホーム
 ミーティングができました。楽しいミー
 ティングとな

りました。以上で報告とさせていただきます。あ
 りがとうございました。

○第6班

山縣栄寿会員



それでは、6班のほうの報告をさせていただきます
 と思います。開催日時、場所、参加者の紹介です
 けども、9月9日の月曜日夕方6時半から、白河
 駅前の「タントゥ」で出席8名で行
 いました。司会のほうは委員長
 の成井さんで、書記はわたくし
 山縣。参加者のほう
 が、石川会員、白岩会員、関
 谷会員、中目会員、渡部勝也
 会員、鈴木満会員でした。あ
 と初めのほうで、金田ガバナ
 ーノミニの出席と挨拶をいた
 だきました。まず会を進める
 にあたってわたくしのほうか
 ら会の進め方として二つ皆さ
 んにお願いしました。一つ目
 がテーマに対して一人一人
 発言していただき、その際
 は他の会員は途中で意見を
 言わないこと。二つ目が、各
 会員の意見が終われば共通
 する話題や課題が出てくる
 ので、それをもとに自由討
 議、論議していただけると
 書記としてまとめやすいの
 で、このやり方で進めさせ
 ていただきました。しかし、
 アルコール飲料が増してく
 るとルール無用なんです
 ね、やっぱり。過去のホーム
 ミーティングの時には一応
 話や高校時代「ホテルニュー
 白河」さんでバイトされて
 いた時、どこかのロータリー
 クラブが例会会場としてお
 使いになっていた事があり、
 その時もホテル側の立場と
 してのエピソードも聞けま
 した。後程、紹介したいと思
 います。なかなかこれま
 でになく私自身としては充
 実したホームミーティング
 でした。解散後はそれぞれ
 だったようです。さて、既
 にこれから報告する中で改
 善されていることもあり嬉
 しい限りですが、あくまで
 9月9日時点でのまとめと
 書記の感想も含めての報
 告となります。各委員会
 や理事会さんへのお願い
 等もありますので、この
 会がよりよく発展してい
 くための改善、修正の一
 つとしての提案として受
 け止めていただければと思
 います。テーマ1について
 ですけど「例会の参加率
 を上げるには」ということ
 で、4つの点で申し上げます。
 一つ目が、会員個人の意
 識の部分の問題もあるだ
 ろうということで、やっ
 ぱりご自分の職業上の実
 務や自分の業種会の会
 合とかの関係性も大いに
 あるだろうと。あとは、
 開催日は決定している
 のでロータリアンとして
 例会に参加しなければならない
 という意識が常態化する
 まで、仕事との関係性
 もあるがその参加すべき
 かどうかの辛い心の葛藤
 の壁

を乗り越えていく必要があると。それを乗り越えれば、その先に毎週木曜日例会ということで、いつの間にか第一ホテルさんの駐車場に来て会場に自然と足が向いてるとなるまで耐え抜き参加することという話も出ました。二つ目、会の運営についてですけど、全体的には楽しい企画だろうと思いますが、話の中では常に時間に区切られた充足感が得られない。あと貴重な時間を削った割に時間限定で整然と流れていく。月例予定表と当日の例会の内容が違うことが多々ある。委員会同士の横の連携、情報の共有化が薄く場的な感じがする。両方知っている人は知ってるが、知らない人は知らないでその具体案としては、まずは幾つかの班からも出たとは思いますが、役職を与えるということで40周年や金田ガバナー年度含めて責任ある役職を一人一役職として与えると。また、各委員会の中でも輪番制を設けて一人一人に責任を持たせて対応させることが必要であろうと。情報発信、情報を共有化することってということが今、叫ばれてると思うんですね、やっぱり月例プログラム案内や連絡ボードには、もうちょっと細かい内容で記載してくれると、例会の内容によって業務との兼ね合いでも都合付けて出席しようという気になる。あとは細かいことになりそうですが、クラブ委員会さんへのお願いになろうかと思いますが、例月プログラムの会員媒体の配布物に今月ならゲストの卓話なら誰なのか。第2週目例会は、誕生祝い会や理事会の記入。ホームミーティング報告会ならば、何班と何班が何日か記入していただくと思えやすくわかりやすくありがたいです。あとは、月の2週目の例会は理事会もありますので、10月の理事会の際には11月の例月予定の中に先程お話をしたことを加えたものを提示していただき検討していただけると、より充実した情報発信となるのかと。あとは、例会で印刷物配布する時に、委員会から説明があると更に嬉しいです。来月でいえば、10月31日の例会は僕自身が思ったんですけども、そこでやることになったのかななんて説明があると嬉しいなと思います。紙媒体を見ただけでわからないんですが何故そこでやるのかなというようなこと。そうすると、情報の共有化が出来て、1人よりも2人、2人よりも3人、3人よりも5人、5人よりも10人知ってれば、例会に来られる方とばったり会った時に、何月何日はどこどこでやるよなんてこと伝えられるので、そういった共有が出来るのかなと思います。その為にはやっぱり横の連携も必要になってきますので、ライン等なりで関係する委

員会の委員長さん同士の繋がりと実現可能なかなと思います。あと、今月の連絡ボードには10月3日10日のゲスト卓話者の役職、名前等が記載されてわかりやすいなと思いました。あとはお願いがあるんですけども、理事会内容は次の例会時にやっぱり会員に報告していただければ、情報共有できるのかなと思います。本会の定款の第7条の第2節には、議事録全会員が入手できるようにすべきであるとか書かれていますので、幹事の十文字会員様、よろしく願いいたします。出席率については50パーセント近くの出席率では駄目なのかと。一律に70パーセント以上と当てはめるのはどうなのかということで、やっぱりそれぞれのロータリークラブが会員の職業上の状況もありますし、出席少ない方も自覚はしてるはずであると。第一義的に自分の仕事と生活があって、第二義的にロータリークラブだと思いますが、ただ会員個人の部分ではやっぱり出席の連絡はきちんと果たすべき事なのかと。まとめる側へのやっぱり気遣いを忘れないことがロータリアンとしての務めではないかと。あとは、当初挨拶いただいた金田ガバナーノミニーのお話の中で、ロータリークラブ県内には61ある中で、一番退会者少ないのが白河西ロータリークラブであると。何故少ないんだと、めずらしいと聞かれると。あと、ホームミーティング実施してるロータリークラブは少ないと。実施方法の問い合わせも来ると。あとこの間、金田さんが例会ズームで参加して立場的に相互会話できるとありがたいなんていう話をいただきまして、やっぱりそこには白河西ロータリークラブの独自の運営方法がやっぱりあるんですね、先程もありましたように。例会開催が昼と夜やっているというロータリークラブはないそうです。本来は普通お昼ということなので。そういったところが会員の気質だったり、人としての良さや文化があるからだだと思いますので、この辺は大事にしていきたいところかなと思います。4つ目が例会の中身の部分についてですけども、SAA委員会か出席委員会、プログラム委員会さんになるのか、理事会で検討になるのかどうかわかりませんが、席の部分についてはSAA委員会さん毎回本当に工夫されてる事と思いますが、時には委員会ごととか、ロータリークラブの年数ごととか実施してみてもどうかという話も出ました。あと食事の面ではやっぱり肉好き、魚好き、ベジタリアンと好み分かれるところですが、月末例会はアルコールを含む食事会にするとか、3か月に1度は豪華な食事会にするとかやってみてはどう

でしょうかという話も出ました。あと、服装の面では本会はそんなに服装の面では厳しくありませんが、過去にはフォーマル会というのを催してたそうなので、そういう時もあるのではないかとということでした。あと例会の運営に通じると言うんですけども、S A A委員会さん、出席委員会さん、理事会になるのか、例会の時間と食事の時間はやっぱり分けて対応すべきではないかと。例会は12時半から1時半、6時半から7時半と。この時間は例会の時間であって、やっぱり食事は慎む時間ではないかと。そうすると、例会の内容も充実してくるのではないかと。じゃ食事はいつするんだいということで、先程S A A委員長の矢田部さんからもありましたけども、その30分前ということで12時から12時半、6時から6時半ということで、その時に会員の親睦を深める雑談会、食事会として位置付ければ会員同士の仲もより深まっていくのではないかと。その為には、ホテル側さんにも12時や6時に食事できるようにしてもらふ必要もありますし、会員の皆さんには早めに時間内に来て食事をしながら会員との親睦を深める楽しいひと時の時間をしてもらおうと。もちろん、S A A委員会さんや会長さんや幹事さんもやっぱり一緒に食べてもらおうと。僕ずっとこう参加して見てたんですけども、冷たい食事してるの毎回見て忍びないんですよね。一番仕事が忙しいのに冷たい食事してるわけです。あとは演台でお話してる方がいる中で、やっぱり食事してるのは失礼かなという意見もやっぱり出ました。その辺解消するためにはそういうやり方でできれば少しは解消できるかと思います。その後、S A A委員会の方々の集合時間等早まりますが、現在会ごとに振り分けて対応してるので問題はないのではないかなと思います。一番の課題は、ホテル側さんへの出席の報告日時になるんじゃないかなと思います。現状では12時半の時には、当日10時半まで。6時半の時には、当日4時半まで吉田さんがホテルとS A A委員会さんに連絡していらっしゃるんですね。これ食事を準備するホテル側さんの立場に立った場合はどうなのかと。そこから食事の準備するにはやっぱり大変だろうと思いませんか。先生みたいな言い方しちゃいますけど、すいません。ここで先程の「ホテルニュー白河」で高校時代アルバイトをやった話が重なってくるわけなんですけども、その当時はやっぱり厨房はてんやわんやで血走ってるし、食事のメニューのほうもやっぱり限定されてしまうことが多かったとのことでした。もっと美味しいものを

食べさせると言われても、やっぱり価格設定との折り合いもあるのになと感じたそうです。そこはですね、じゃあどうすればいいんだということになると、例えば前日夜の12時までとか3時までとか出席報告すると変更できないものではないかとということですね。そうすれば食事を準備するホテル側さんにとっても助かるはずですし、席を準備をするS A A委員会さんのほうも助かるのではないのかなと思います。ただ、様々な状況下への対応が必要ですが、当日出席で時間遅れた場合の食事はどうするんだということになると、その場合は、例えば事務局席でお食べになるとか。会員の中ではあとは出席連絡なく突然参加される方もいらっしゃる場合は、昔は下に食堂あったのでそこでカレー食べてもらったりとか、S A A委員会さんとか事務の吉田さんの食事を食べてもらったとかあったんですけども、やはりそういう場合はやっぱり自ら食事提供なしでいい事ご自身から申し出る事ロータリアンならではのとも思います。かつては、なんか会費払ってんだから食事用意して当然だろうなんて言われた方もいらっしゃるなんて話も出たんですけども、今はそういうロータリーの会員の方はいらっしゃると思います。来客の時は、当然担当委員会でやってもらえればいいので、これは問題ないかと思ひますし、メーキャップに関しても実際に参加というのは今のご時世さすがに失礼に当たるので少ないのではないかなと思います。テーマ1に関しては以上です。テーマ2に関しては3つ程になります。「ホームミーティングの回数、内容やり方について」は、1、開催については現状のままで良いという意見が多数でしたが、一つの意見として一年間の例会の回数が47回から50回ある中で、ホームミーティングの報告会で4回使うのはもったいない気もすると。ホームミーティング実施して統一の報告用紙を作成し、それを親睦委員会なのかプログラム委員会なのかでまとめて、年度末の各委員会の回顧で報告する方法もあると。そうすると例会の内容が生きてくるんじゃないかと。あとは、二つ目としてはどうやって班長や書記、班分け行っているのかよくわからないということで。業務の一つとして、親睦委員長さんや各班長さんが行っているが、やはり一人で行うのは大変なので委員会内でやっぱり班内で連絡を取り合って話し合ったりして業務分担しながらやれないのかと。そうすれば、やり方が委員長さん班長さん以外の方もわかり共通理解のもとに行えるのではないかと。その為にはSNSツールを有効に使い連携を図つ

ていくことが大事であろうと。その他としては、各委員会で委員会ごとに意見交換会をもう少し開催して疎通を図ってみるのも一つの方法であろうという話題が出ました。食事会や飲食を共にする会をもう少し積極的に行ってみてはということ。やはり、個人と組織にお願いする部分ありますけども、一つだけ手直したのでやっぱり修正改善ってやっぱり難しいですね。幾つかの事が連動していかないと変わっていかないので、人というのがやっぱり自分が置かれている環境が変わることで考え始めてやっぱり動こうとします。これから大きな行事や運営が控えているので、各委員会での仕事分担や例会やホームミーティングは、やはり会員のモチベーションアップには最適な機会だと思いますので、理事会、各委員会でご検討いただき、修正改善を加えながらやることで本会が更に飛躍し続けていくのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

○7班

永山龍太郎会員



皆さん、こんばんは。今日は渡辺道直君の代打ということで発表させていただきます。代読させていただきます。9月17日、火曜日、17時30分から

「アジアンチャオ」にて、量より質にこだわったお料理を美味しいお料理をいただきながら楽しく開催させていただきました。参加メンバーは、鳴島会員、班長。書記、渡辺会員。遠藤会員、長会員、村上会員、渡部会員、そしてわたくし永山の7名でした。初めに「例会の参加率を上げるにはどうしたらよいでしょうか」のテーマについて話し合いをしましたところ、参加率が低い原因と思われる事は何かということでいろんな意見をいただきました。例会で何をやっているのかわからないのではないかな。例会中に雑談する時間が少ないのではないかな。また、平均年齢が高いことが気になるのではないかな。会場の駐車場が足りないのでは来づらくなってしまっているのではないかななどが挙げられました。そして、参加率を上げるための工夫や心掛け、例会の回数を減らすことで出席者並びに運営者の負担を減らすことができないかな。先輩会員が積極的にお声がけをする。ゴルフや野球などレクリエーションを通じて交流を増やす。かしこまらない楽しそうな雰囲気作りにする。なかなか出席できない会員に対しては、積極的にお声がけをしてみたらどうですかという部分。参加することで年齢や職業を問わ

ず、幅広く交流が出来る魅力を伝える。他の例会を拝見したり、他の会員の話を聞くことで、例会の多様性や楽しみ方を感じる機会を作ってはどうか。先輩会員がロータリークラブとは何ぞやということを積極的に唱えてみてはどうかと。常日頃から会員同士で気遣いのある挨拶やお褒めの言葉を喋ったりする。運営側の立場の場合、達成感、やりがい等を優しさと共に感じることができると伝えるということもありました。続いて、テーマ1については以上なんですけど、テーマ2「ホームミーティングの回数、内容、やり方について」話し合いしました。回数については、参加者全員が現状の回数で良いのではないかなという意見でした。内容については、会全体を見つめる良い機会かなと思いますということです。やり方については、各班それぞれ自由なやり方楽しく開催されているのかなと思うという意見が多かったです。テーマ2については以上になりますが、その中でちょっと気になったことが1点あります。皆さん、仲悪い方とかいらっしゃるんですか。ちょっとそこは気になりました。簡単ではございますが、以上を持ちまして第7班の発表を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○第8班

吉田充会員



皆さんこんばんは。第8班のホームミーティングは、9月4日の18時30分より「藤屋蔵」で始まりました。班長に藤田龍文会員。書記にわたくし。メンバーに、上杉謙太郎会員、齋藤孝弘会員、鈴木浩一郎会員、西山よしえ会員、矢田部錦四郎会員、吉成茂会員、十文字宗博会員の10名が予定されていまして。その中でですね、吉成茂会員と十文字会員が、欠席ということで7名で開催されることになりました。途中で金田ガバナーノミニーに参加していただき、また上杉謙太郎会員が遅れて参加したというふうなことでございました。それで、まず最初に18時30分から藤田班長が開会の言葉を述べて始まったんですが、その中で今回場所が「藤屋蔵」という一種特殊な場所というか、なかなか私たちその場で飲むことはできない。多分、藤田班長さんの話だとその場で飲むのは多分今回初めてだというふうな場所で開催していただきました。すごくこう雰囲気のある場所でありまして、郡山から「ベストテーブル」というデリバリーをオーダーしておいてくれて、また飲み物も鈴木浩一郎君のほうでワインをいっぱいこう準備していただい

たので、かなりお酒もいっぱい飲みながらというふうな形で開催させていただきました。班長の挨拶の中にですね、フリートークという言葉がキーワードにあって、フリートークでホームミーティングを開催しましょうというふうな事だったので、もう本当に最初から飲み会になってその全部で11人、ごめんなさい、あと龍文さんのご家族でお母様と奥様。それとあと会員の齋藤愛さんが一緒に参加していただき、私たちの食事の準備とかそういったものをしてくれました。本当にありがとうございました。そのフリートークというふうなことから入って、私が乾杯をしたんですが最初から飲み会のような形になってしまい、内容が私の中でもちょっと聞き取れない10名ちょっといる中での話だったので、ちょっとメンバーが多すぎてちょっと話が聞きとりずらかったということがありました。そのテーマに沿って「例会の参加率を上げるにはどうすればいいのか」というふうなことから入ったのですが、食事を美味しいものにしてほしいなというふうなことで、例会の参加率を上げるためというよりも食べ物が美味しかったら人が集まってくるんじゃないかということかなとは思いますが、そんな話が出ました。それとあとはプログラムの発表をもうちょっと早くしてほしいというご意見もありました。それから、ある会員の方が月曜日だと参加できるんだがなあということ、月曜日に曜日変更してもらえればいいかなんていうふうな話も出ていました。あとは、参加率を上げるというよりは参加する意欲が出たというふうなご意見で、先輩方から出席する例会でよくこう話をしていただき、よく来たねというふうなことを声掛けをしていただいて、なんか来て良かったかなと思えたというふうな話がありました。そんな中であとはですね、月に一度はやっぱり酒飲みの例会があったほうがいいかなという意見が出てたかと思います。話がちょっと聞きずらくてまとまらなかったんですが、第1のテーマに関してはそのような意見が出ておりました。第2の「ホームミーティングの回数、内容について」ということで、通常通り2回でいいんじゃないかとか、やっぱり楽しいのでホームミーティングは年4回やったほうがいいんじゃないかとか、そんなお話が出ておりました。そうですね、あとはまあ楽しくホームミーティングを開くために、班長がいかにか計画を立てて、あとはファミリー等を交えてメンバーの顔を覚えてもらうようなホームミーティングを開催していったほうがいいのではないかなというふうな意見が出ておりました。

なんか本当に山縣先生の後でまとまらない話で申し訳ないんですが、第8班のホームミーティングをこれで終了させていただきます。ありがとうございました。

○親睦活動委員会

沼田重一委員長



ありがとうございました。また、次回ホームミーティングの開催にあたりまして、今のご意見等汲みながらまた開催したいと思います。また何かあればですね、皆さんのほうからまたアドバイスをいただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○S A A

矢田部錦四郎委員長



はい、ありがとうございました。S A Aのほうにもいろんなご意見をいただいた事、改めて考えていきたいと思いますが、一応運営のほうとしてはやはり理事会になったり、そこで決まらないとなかなか厳しい部分もあるし、プログラム事態が動いてるものですから、ロータリーは3年間会長さんが決まってるわけですから、次年度の人にもうこの辺も含めていろいろと対策を含めて良いアイデアでしっかり運営してもらえればS A Aとして司会進行もやりやすくなるのではないかなと思います。今日は珍しく時間もあるんですが、たまには早めに進行していければと思います。

○プログラム委員会

大住由香里委員長



皆さん、こんばんは。プログラム委員会の大住です。来週、10月3日なんですけれども、来月の月間が地域経済という内容だったかと思ひまして、うちの「デイサービスひいらぎ」の隣にあります「BLOOMING CAFE」の白岩麗奈オーナーにお願いしてあります。白岩さんは子育てと地域経済という内容でお話していただくんなんですけれども、多様な働き方という形でいろいろ考えていらっしゃるオーナーさんですので、是非参加率60パーセントを超えるように参加していただけたらなと思いますので、どうぞよろしくお願いします。